

市民公開シンポジウム「第 14 回栃木県の移植医療を考える」開催報告

9 月 28 日（日）、ライトキューブ宇都宮（宇都宮市）に於いて、自治医科大学附属病院移植・再生医療センター主催の「第 14 回栃木県の移植医療を考える」が開催されました。今回は第 52 回日本小児栄養消化器肝臓学会の共催をいただき、学会プログラムのひとつとして開催致しました。

シンポジウムには、栃木県のマスコットキャラクター「とちまるくん」、そして、平日頃移植医療の普及・啓発にご理解ご協力をいただいている宇都宮ブラックスの「ブレッキークン」も応援に駆けつけてくださり、子どもたちに大人気。開演前からなかなかの盛り上がりを見せていました。

講演は、移植医療についての学びを中心とした第Ⅰ部に始まり、第Ⅱ部では栄養や実際の食事のメニューについて、管理栄養士やフランス料理シェフの講演を聞いていただきました。食事制限がある方たちの食卓が少しでも豊かになればとの願いを込めて構成した今回のプログラム、会場からはたくさんの質問も上がり、活発に意見交換が行われました。

今後も移植・再生医療センターでは移植医療の普及・啓発に努め、多くのみなさまにご理解いただけますよう、スタッフ一同精進して参ります。

お忙しい中ご来場くださいましたみなさまに心より御礼申し上げます。

当日はご来場の方々にアンケートをお願いしました。是非、集計結果もご覧ください。



院内で試食会を行いました

感想～
オロケ自体にしっかりと味がついていました。冷めても美味しい、お弁当にも良さそう。
オロケソースの辛みが食欲をそそります。キュウリソースがさっぱりしていておいしい。アンチョビソースはどれもおいしく、様々な料理に応用できそうです。
オロケソースはどれもおいしく、様々な料理に応用できそうです。

第14回栃木県の移植医療を考える 来場者アンケート

性別	男	10
	女	30

年齢	10～20代	8
	30代	5
	40代	7
	50代	11
	60歳以上	8

医療関係者	はい	12
	いいえ	28

お住まい	宇都宮	5
	県内（宇都宮除く）	21
	県外	12

交通手段	徒歩	1
	電車	25
	車	13

参加回数	初めて	33
	2回目	1
	それ以上	4

ご来場者	1人	18
	2人	15
	3人	2
	4人	2

誰と	親	7
	子	6
	配偶者	3
	祖父母	1
	知人・友人	5

第14回栃木県の移植医療を考える 来場者アンケート

臓器提供の意思表示について考えるきっかけになったか？	強くそう思う	29
	少しそう思う	12
	あまり思わない	0
	まったく思わない	0

「臓器移植」や「グリーンリボン」について、 周囲に伝えたいか？	強くそう思う	27
	少しそう思う	13
	あまり思わない	1
	まったく思わない	0

「食と健康」の意識は 高まったか？	強くそう思う	25
	少しそう思う	19
	あまり思わない	0
	まったく思わない	0

次回	また来たい	24
	近場であれば来たい	13
	もう来ない	1

ご意見、ご要望、感想

- ・試食できるのかと思っていたので残念！
- ・グラフの数字に生体移植が入っているのか気になりました（文字だと入っていないさそうでしたので）
- ・別の病院で、レシピエント側の臓器移植の意思表示はして良いと言われました。
→してあげば、できるかどうかその際に医師が判断するとの事でした。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・お料理が美味しそうだったのでお腹がすきました。
- ・調味料一つで健康を保つことができるのだと感じました。
- ・移植についてクイズで学ぶことができて楽しく覚えることができました。
- ・ブレッキーが来たのがうれしかった。
- ・最初の講演の内容が良かったが、資料がなくて残念でした。ゆっくり見たい資料でした。
- ・貴重なレシピとお話を有難うございました。
- ・駐車場が満車が多く、探すのが大変でした。
- ・臓器移植の現状、意思表示をする大切さを改めて学べてタメになった。
- ・第二部の食事においては、患者さんに説明・指導していくための良いヒントを頂けてありがたかった。
- ・本日聞いたことを今後の患者さんの指導等に活かしていきたい。
- ・とても勉強になりました。